

## 1 平成26年度における介護サービスの基盤整備の目標値の設定

### ① 施設整備等の基本的な考え方

ア 居宅介護サービスを充実させ、「施設から在宅」への転換をすすめます。

介護保険給付の基本は、居宅における自立であり、在宅で生活している要介護・要介護高齢者の方々の多様なニーズに対応し、利用者に満足していただけるよう介護度に応じた適切な居宅介護サービス内容の充実を図ります。

イ 第5期の施設整備については、最小限にとどめます。

介護施設については、第4期計画期間においては、第5期以降の整備計画分を前倒しして整備を行いましたので、第5期計画期間中の施設整備は、最小限にとどめます。

また、今後さらに急激に増大することが予想される介護需要に対しては、施設介護による対応には限界があるため、既存資源の活用を図るなどの調査研究を行います。

(参考)

サービス区分	第4期計画	実績	上乗せ分
小規模多機能型居宅介護事業者	10箇所 (250人)	12箇所 (300人)	2箇所 (50人)
小規模特別養護老人ホーム	2箇所 (40床)	6箇所 (120床)	4箇所 (80床)
認知症高齢者グループホーム	2箇所 (18床)	10箇所 (90床)	8箇所 (72床)
認知症対応型訪問介護ステーション	7箇所 (84人)	10箇所 (118人)	3箇所 (34人)

### ② 介護サービスの基盤整備の目標値

	施設区分	現況 (A) H23年度末	第5期整備数 (B) H24～H26年度	目標値 (A+B) H26年度末
介護保険施設	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	22か所 (1,770床)	0か所 (60床)	22か所 (1,830床)
	介護老人保健施設	18か所 (1,783床)	— (—)	18か所 (1,783床)
	介護療養型医療施設	16か所 (1,037床)	— (—)	16か所 (1,037床)
地域密着型サービス	小規模多機能型居宅介護	26か所 (650人)	— (—)	26か所 (650人)
	小規模特別養護老人ホーム	8か所 (165人)	— (—)	8か所 (165人)
	認知症高齢者共同生活介護	39か所 (513人)	1か所 (18人)	40か所 (531人)
	認知症対応型通所介護	22か所 (244人)	— (—)	22か所 (244人)
	夜間対応型訪問介護	1か所	1か所	2か所
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	—	3か所	3か所
	複合型サービス	—	3か所	3か所
特定施設	ケアハウス	20床	50床程度 ※入居者の要介護度の 重度化の状況に 応じ対応する	70床程度
	有料老人ホーム	—		
	サービス付き高齢者向け住宅	—		